

Amazon QuickSight 最新アップデート

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 ソリューションアーキテクト 下佐粉 昭

2018-09-28

自己紹介

下佐粉 昭(しもさこ あきら) Twitter - <u>@simosako</u>

所属:

アマゾン ウェブ サービス ジャパン 技術統括本部 エンタープライズソリューション部 ソリューションアーキテクト

EditorはEmacs派(最近はVS codeばかりですが…)





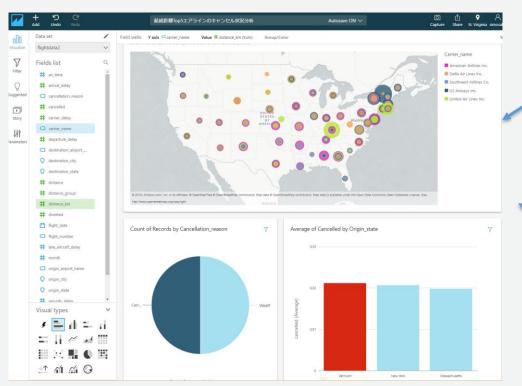
使った事が ない方向けに

3枚で説明する QuickSight概要





ブラウザだけで利用可能 容易な操作&常に最新データを共有



設定、ダッシュボード作成、閲覧等 全機能がブラウザで利用可能

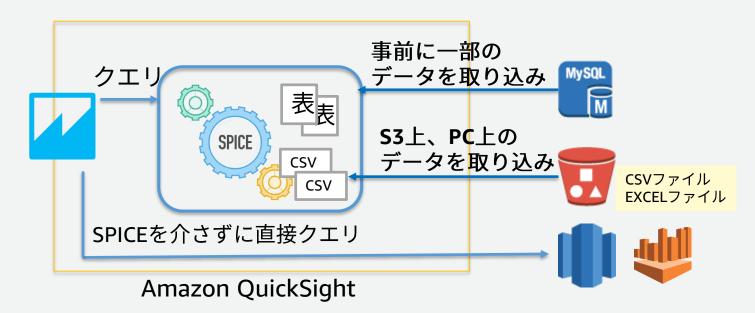
モバイルブラウザに も対応

iPhone用には専用ア プリを用意(閲覧の み)



SPICEエンジン内蔵

- インメモリのカラムナDBを内蔵(管理不要)
- RDB外データの取り込み、RDBデータのキャッシュ





個人的に重要と 思ったものを抜粋

QuickSight 最新アップデート



AWS Directory Service Readers Custom Date Format **Aggregate Calculations** Groups Dashboard Save As Microsoft AD **25 GB SPICE Private VPC** Scheduled Refresh Spark and Presto Connector Just In Time Provisioning Ohio Region tables Search Federated SSO Totals **Excel Custom Range** Athena connector Export to CSV S3 Analytics Cross Account Week Aggregation Aurora PostgreSQL Calculations in SPICE S3 Access ローンチ以降の **Row Level Security** Hourly refresh Aggregate Filters Sydney Region 新機能追加 **Tokyo Region** 10K Filter Values **KPI Chart AWS Directory Service Redshift Spectrum** Spark Connector **Tabular Reports** Singapore Region Support **AD Connector URL Actions Audit Logging Geospatial Maps** Combo Charts Count Distinct **Parameters** Relative Date Filters Filter Groups with CloudTrail HIPAA Other Buckets Snowflake Connector SaaS Connectors Teradata Connector PCI compliance



東京リージョンで利用可能に

利用可能リージョン: (2018/09/28時点) バージニア北部 オレゴン アイルランド オハイオ シンガポール シドニー



データソースに近いリージョンを 選択することでパフォーマンスの向上

https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2018/05/Amazon-QuickSight-announces-Pay-per-Session-pricing-Private-VPC-Connectivity-and-more/



東京

Enterprise Editionに"Reader"ユーザが追加

QuickSight のEnterprise Editionで"Reader"ユーザが利用可能に 作成済ダッシュボードの閲覧や、ドリルダウンによる分析、データダウンロードが可能 使った分だけの費用、使わなければ\$0、最大\$5/ユーザ/月 あまり利用しないユーザにも費用を抑えつつ権限付与が可能

Author (制作者)



Reader(閲覧者)



インタラクティブなダッシュ ボードの作成およびパブリッシュ

/ユーザ/月 年払い

\$24/ユーザー/月払い

インタラクティブなダッシュボードに いつでもセキュアにアクセス

/セッション*

/ユーザ/月

*セッション=ログイン後30分間

https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2018/05/Amazon-QuickSight-announces-Pay-per-Session-pricing-



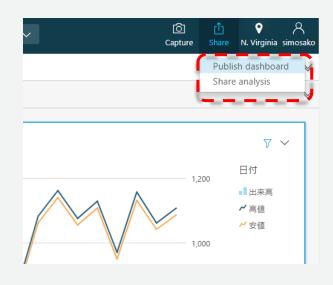




分析結果の共有機能とReaderユーザ

共有機能で常に最新情報が得られる環境

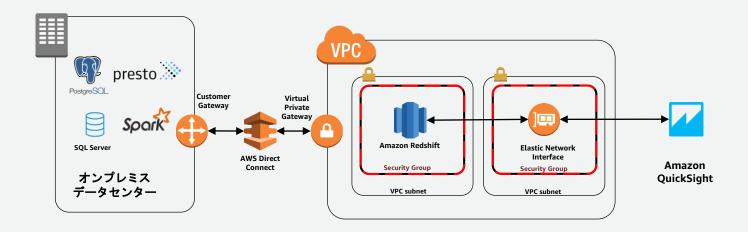
- Share Analysis
 - Analysis (分析)を共有
 - 共有側も編集可能
 - Readerには共有できない
- Publish dashboard
 - Analysis (分析)をリードオンリーで共有
 - フィルタの変更や、ドリルダウン操作は 可能
 - Readerにも共有可能





データソースまわりの改善① プライベートVPCアクセス

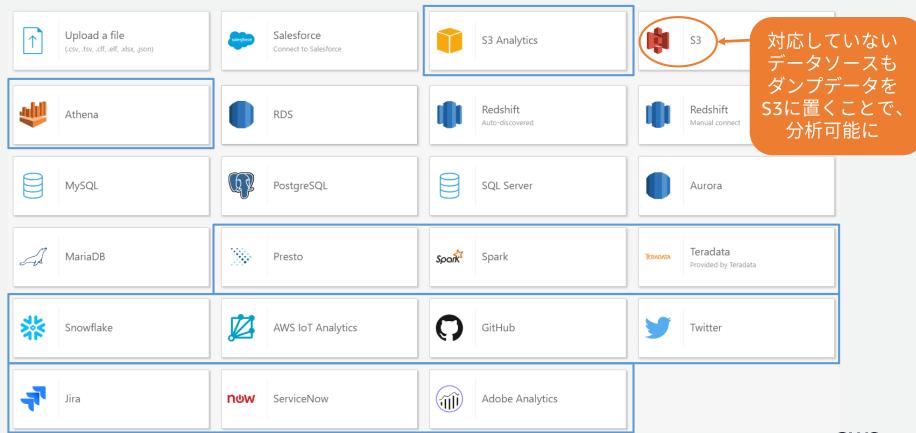
データソースがグローバルIPアドレスを持たない場合でもQuickSightからアクセス可能に DXを経由して、オンプレミス上のデータソースにアクセス可能に



※設定の方法を解説したブログ記事が以下にありますので、参照してください https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/amazon-quicksight-private-vpc-access/



データソースまわりの改善② 各種データソース対応の追加



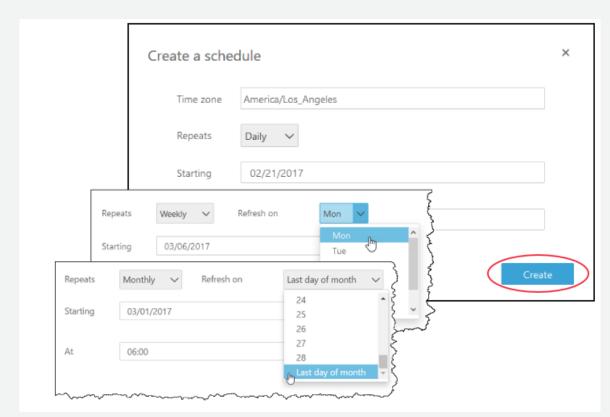


SPICEまわりの改善

1データセットの最大サ イズが25GBに増加

リフレッシュのスケ ジュールが可能に

- Standard Editionでは 日次/週次/月次の指定
- Enterprise Editionでは 1時間間隔も指定可能

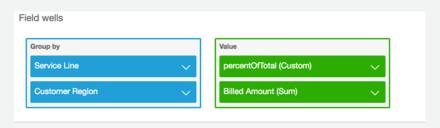




Prepareまわりの改善 Calculated FieldにTable Calculations(表計算)が追加

データをグループ分けし、そのグルー プごとの演算を行うための関数郡 (SQLではWindow関数にあたる処理)

例:Service Lineの種類ごとにグループにわけ、 それぞれのグループ内で各Customer Region 何%のBilled Amountを占めているかを "percentOfTotal"関数で計算



Percentoftotal and Sum of Billed Amount by Service Line and Customer Region				
Service Line	Customer Region	percentOfTotal	Billed Amount	
Billing	APAC	20.6%	3,569,779.71	
Billing	EMEA	25.6%	4,446,586.13	
Billing	US	53.8%	9,330,832.51	
HR	APAC	20.0%	3,441,106.16	
HR	EMEA	25.1%	4,316,700.48	
HR	US	55.0%	9,464,168.33	

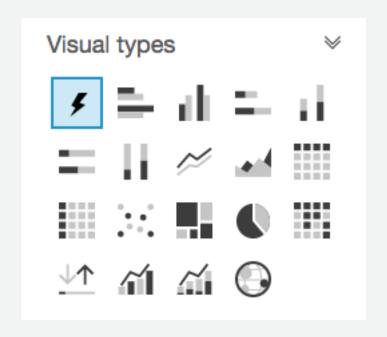
https://aws.amazon.com/about-aws/whats-new/2018/08/amazon-quicksight-now-supports-table-calculations-and-minute-level-aggregation/



Visualの改善①Visual Typeの追加

様々なVisualを利用可能

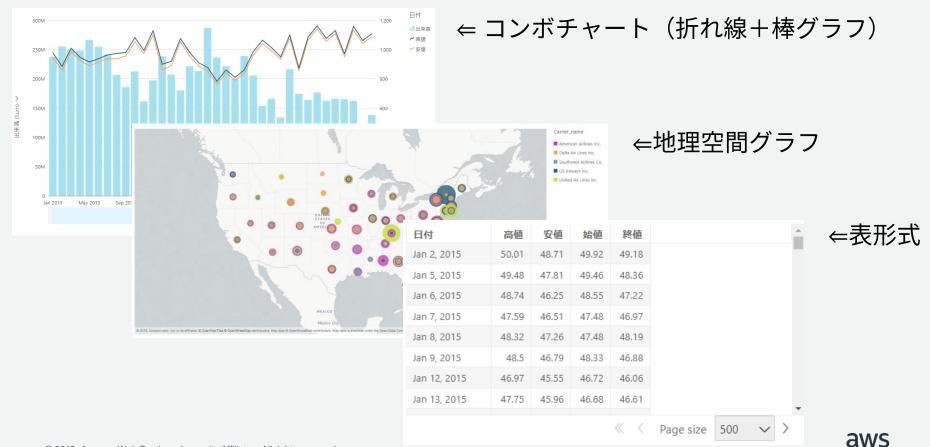
- 棒グラフ(水平・垂直)
- 積み上げ棒グラフ(水平・垂直)
- 100%積み上げ棒グラフ(水平・垂直)
- 折れ線グラフ
- エリアラインチャート(面グラフ)
- ピボットテーブル
- 散布図
- ・ ツリーマップ
- 円グラフ
- ヒートマップ
- 表形式レポート
- KPI
- コンボチャート
- 地理空間



Auto Graphでグラフを自動選択可能



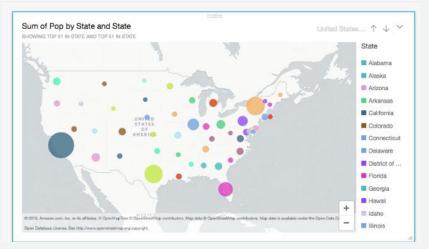
追加されたVISUALの例



補足:地理空間グラフとジオコーディング機能

- 地理空間にデータをマップする には、緯度(Latitude)と経度 (Longitude)の値が必要
- ・ 自動ジオコーディングは、都市 名、州名等から自動的に緯度・ 経度に変換する機能
- 現時点ではジオコーディングは 米国の都市名・州名のみ対応



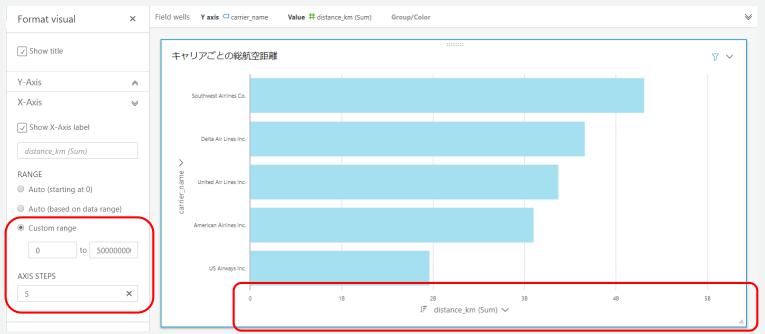




Visualの改善②:書式設定

より詳細な書式(フォーマット)調整が可能に

例)軸の範囲やステップ量の固定、判例の位置や大きさ、「その他」の非表示等...



https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/formatting-a-visual.html



Visualの改善③:パラメータ(変数)

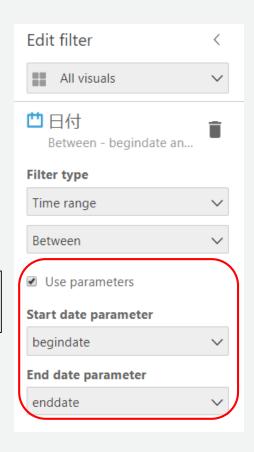
パラメータ(変数)を定義し、 それをフィルター条件や計算フィールドで参照 することが可能に

パラメータの値を変更するには

• URLに?param名=... で指定

https://...quicksight.aws.amazon.com/sn/analyses/xxx?begindate=2015-01-01&enddate=2017-12-31

- ダイナミックデフォルトで自動設定
- コントロール(GUI)で指定





パラメータのダイナミックデフォルト

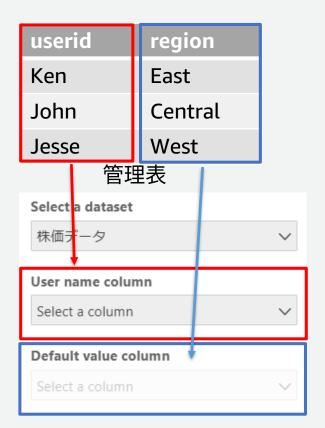
ログインしたユーザIDによって自動的にデフォルト値が変わる仕組み

例)中部担当のJohn用に Region=Centralで自動的に絞り込んだ Visualを見せる

ユーザIDと、そのユーザ用のデフォルト値を入れた管理表を作成

管理表をパラメータに関連付ける

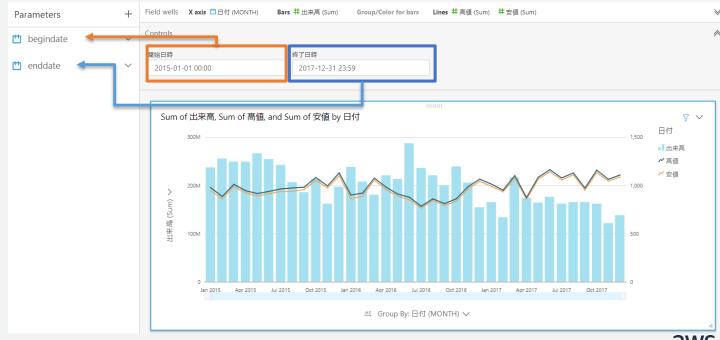
https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/parame ters-in-quicksight.html





パラメータとコントロール

画面上部にユーザ入力枠(コントロール)を作成し、 その入力値をパラメータにわたす事が可能



共有機能の改善: Eメールでのレポート

QuickSight上で作成したダッシュボード をEメールで配布する機能が追加

- Enterprise Editionのみ
- Readerユーザがメールを受信した場合、 1セッションを消費する

定期送信が可能(1日1回,週に1回,月1回)

レイアウトはPC(ブラウザで見たそのま ま)か、モバイル(縦にVisualが並ぶ) を選択可能



https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2018/08/amazon-quicksight-launches-support-for-email-reports-and-data-labels/



セキュリティの改善① 行レベルセキュリティ

ユーザに見せる情報を行レベ ルでコントロール (Enterprise Editionのみ)

どのユーザにどのデータを見せるかは、管理表で制御

Username	Category	State
Jane	Aquatics, Exercise & Fitness, Outdoors	WA, OR
Susan		CA



JaneはState=WA or ORが閲覧可能



SusanはState=CAのみ閲覧可能

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/restrict-access-to-a-data-set-using-row-level-security.html



セキュリティの改善② SAMLでのSSO対応

Federated Access with SAML 2.0

ユーザーが自身の Identity Provider ポータルに対し て既存のクレデンシャルで アクセスし,SAML 2.0 を 用いて QucikSight にアク セスすることが可能





セキュリティの改善③ AD連係

Enterprise Editionは

Active Directory と連携することに よってユーザーやグループの権限管理 を行うことが可能

補足:現在はバージニアリージョンにある ADのみサポート





セキュリティの改善④ 自動プロビジョン

ユーザを手動(GUI)で追加するのではなく、自動的に権限を追加するための機能

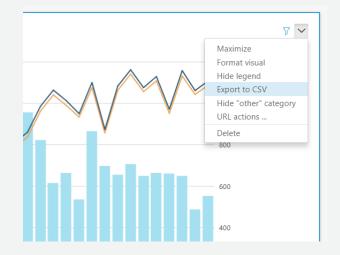


- IAMによるプロビジョン
 - quicksight:CreateUserもしくはquicksight:CreateReaderアクションの権限を付与しておくと、QuickSightにアクセスした時点で自動的に利用可能に
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/provisioning-users.html
- Microsoft AD連係によるプロビジョン
 - ADのグループでReader利用可能を定義可能
 - https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/managing-users-enterprise.html



その他の改善

- 監査 (CloudTrail連係)
- VisualからCSVにエクスポート
- Visualのクイックソートボタン
- フィルタ条件として相対日付の追加 (例:"This Quater"で現四半期のフィルタ)
- データセットの最大Field数が1,000に増加
- データセットの複製、置き換え
- ダッシュボードのコピー:









★ まとめ:QuickSight

新機能が継続的に追加されるクラウドBIサービス

- サーバレスで運用管理不要
 - 自動的なスケールアウトで大規模利用にも対応
- 多様なデータソースサポート
 - VPC内のデータソース、オンプレミスにセキュアに接続
 - 各種SaaSに接続
- Reader費用で、安価に多くのユーザにBIを提供可能

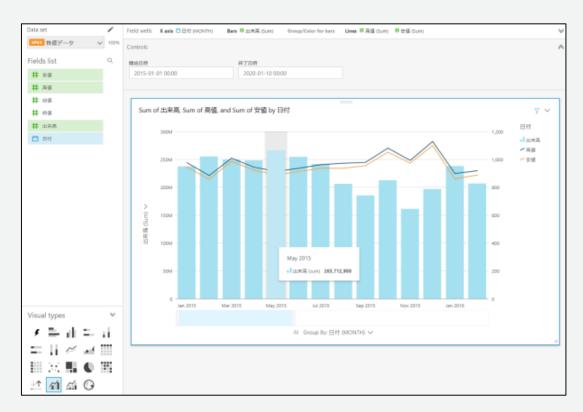


QuickSightのハンズオンキット公開中

QuickSight + SPICEおよび、 QuickSight + Athenaの可 視化を自習形式で体験でき るハンズオンキット

QuickSight自体の費用は無料枠で試せる範囲ですが、 利用するデータソース (Athena)等の費用が発生します

http://chilp.it/c8027b3

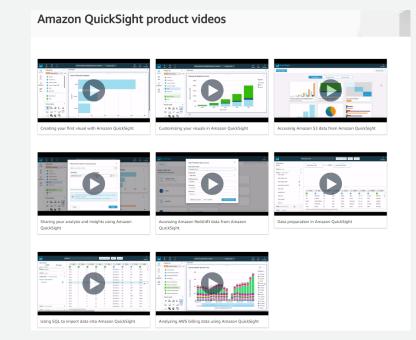




QuickSightの利用方法を動画で解説

QuickSightの使い方を解 説した動画をご用意して います

※日本語字幕を追加予定です



https://aws.amazon.com/jp/quicksight/resource-library/product-videos/



参考情報

Amazon QuickSightホームページ https://aws.amazon.com/jp/quicksight/

Amazon QuickSightドキュメント https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/welcome.html

Amazon QuickSight 更新履歴 https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/WhatsNew.html

Amazon QuickSight 使い方動画 https://aws.amazon.com/jp/quicksight/resource-library/product-videos/

Amazon QuickSight ハンズオンキット
http://chilp.it/c8027b3
もしくは以下(同じリンクです)
http://share-folder-for-large-fies.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/QS-Handson-20180621.zip



補足:

エディションの違いと無料枠



StandardとEnterprise比較

	Standard	Enterprise
料金(Author)	1 ユーザあたり 9USD(年間契約) もしくは12USD(月契約)	1 ユーザあたり 18USD(年間契約) もしくは24USD(月契約)
料金(Reader)	(設定なし)	セッションあたり0.30USD ただし最大5 USD
認証	Local (QS 独自) Federated SSO (SAML 経由) IAM	Standard の全ての方法 + Active Directory
行レベルセキュリティ	No	Yes
暗号化	No	Yes
グループ管理	No	Yes
Readerプライス	No	Yes
SPICEの1時間単位リフレッシュ	No	Yes
AD連係	No	Yes

2018/8/1時点



QuickSightを無料で利用する

Free Trial (試用期間)

- Standard EditionやEnterprise Editionを60日間無料で試用可能
 - 正確には2回の支払い締め日を迎えるまで利用可能
- SPICEを10GB利用可能
- ・ 試用期間中のユーザ数は合計4名まで

Free Tier(無料枠)

- 無料で期限無しに利用し続けることが可能
- SPICEを1GB利用可能
- 無料枠で利用可能なユーザ数は1アカウントあたり1名のみ
- SPICEが不足した場合は利用料金を払うことで容量を追加可能



内容についての注意点

- 本資料では2018年9月28日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報は AWS公式ウェブサイト(http://aws.amazon.com)にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっています。日本居住者のお客様が東京リージョンを使用する場合、別途消費 税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at http://aws.amazon.com/agreement/. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

